今年度の取り組み３本柱

１　学力アップ

①１年生のスタートに学習目的やその大切さ及び自学自習の習慣を身につけさせる。

中学校は学習が基本です。授業に真面目に取り組む姿勢や学習の目的、自学自習の仕方、自主勉強ノートの作り方、質問の仕方などを４月中に指導する。

②読書習慣の徹底と「家読（うちどく）のススメ」

読書は学習の基本であり、学力は読書に比例する。学力向上のために、読書に力を入れる。

月、火の朝（１５分間）・・・全校一斉読書（基本的に全職員参加）

「家読」とは、読書習慣をつけるために、家庭と連携して、「朝読」の習慣を家庭にも取り入れ、読書環境を整えるとともに、家族のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力を高め、基礎学力と「ことばの力」の基盤を育てる。

③漢字検定、英語検定への挑戦

漢字や計算も学習の基本。漢字検定等に積極的に挑戦させ、各自自分に合った級を選び、目標を持って学習をして検定に挑戦する。

木、金の朝・・・各自目標を決めて全学年漢字検定に、３年は英語検定の学習を実施する。

④家庭学習の習慣化と「家庭学習のススメ」の活用

家庭学習の習慣を身に付けさせるため、各教科で家庭学習を意識させるような課題（宿題）を積極的に与えるとともに、家庭学習が続けられるような取り組み（自主学習ノートの提出など）を各学年で取り組む。また、24 年度から配布している「家庭学習のススメ」の活用と「美中学習・生活マニュアル」の活用による学習習慣の確立を図る。

⑤補充学習の実施

定期テスト前は一週間部活動は停止になるので、放課後の時間を補充学習や質問の時間にする。また、長期休業中にも補充学習を実施する。

２「コミトレ」による「コミュニケーション力」アップ

本校は９年前より、子ども達に小規模校の弱点であるコミュニケーション力を補うために、コミュニケーション・トレーング（火曜終学活、木曜朝学活の週２回実施）を実施し、コミュニケーション力を高めている。平成 24 年度には、今までの取り組みをまとめて**「伝え合う力を育む　コミュニケーション・トレーニング」（東洋館出版社）**を出版し、全国から高い評価を受けている。

３　授業方法の改善（協同学習＝主体的な学習）

本校は８年前より、生徒全員を授業に積極的に参加させる授業方法として、「協同学習」を取り入れた授業の研究を行ってきた。その結果、学年が上がるに従って、子ども達は意欲的にそして落ち着いて授業を受けることができるようになっている。今年度も全教科で、**「協同学習」**を取り入れた授業、言い換えれば**生徒が主体的に学ぶアクティブラーニング**を多く実施する。

以上３点を取り組みの大きな柱として、積極的に取り組む。

め ざ す 学 校 像

１．明るい笑顔で、大きな声で挨拶できる学校

※活気があり、生徒が生き生きしている学校

２．何事にも前向きに取り組める学校

※色いろなことに挑戦し、得意なことを見つけられる学校

３．思いやりと感動のある学校

※感動は分かち合い、困ったときに助け合える温かさの感じられる学校

４．いつも花が咲き、掃除がゆきとどいた美しい学校

※花を絶やさず（花は人の心を和ませる）清潔感のある学校

今年度も『日本一美しい学校』をめざします。